

第1回地域連携推進部会 議事録

豊かな人間性

挑戦する意欲

持続可能な社会を担う力

《これからの社会をたくましくしなやかに生き 活躍することのできる力を育むために》

今年度の予定や内容等

(学校と地域・コンソーシアムとの橋渡しとしてどのようなことができるか)

大きくは以下の2つができる。

①生徒の探究についての外部の悩み相談相手

名寄高校では「探究アドバイザー」として顔写真を貼り、何をどのようにサポートできるか貼っていた。

②生徒たちの発表を聞き、講評をする。賞をつくるなら審査員となる。

詳細は以下のことができる。

- ・メンターの役割を企業側がサポートできるといい。

(例：福沢先生は仕事柄プレゼンテーションの仕方、どのように探究するか等の支援が可能。)

- ・令和8年3月19日に発表会がある。また令和8年度の6月下旬頃に3年生の発表会を江別市のえぽあホールにて計画中なので、これに上記②の形で参加する。

部会側の要望として、今後2ヶ月に1度総合的な探究の時間の進捗状況の確認をしたい。

5/14(水) コンソーシアムガイダンスの対応について

吉田さん：12～13分間をどのように使うか見えにくい。話すだけなのか質問を受け付けるのか。

関原教諭：「説明が多くなると思う。5/9(金)に事前指導が予定されているので、そのときに企業への質問を考えさせられなくはないが、生徒たちは何を質問していいイメージつかないと思う。実際に説明を聞いているうちに何を質問したいかが出てくることもあると思うので、実際に質問が出たときに対応していただきたい。」

3 年間のスケジュール

6/11(水)または6/26(木)でいきたい。決まり次第学校側(教頭)から各部会メンバーへ連絡をお願いしたい。

活動のねらい

地域連携推進 活 動 内 容

- ・本校が育成を目指す資質・能力について、地域と共通理解を図ると共に、地域と教職員が協働しながら効果的な教育活動の在り方等について助言や支援を行う。
- ・生徒の探究的な学びの推進のため、野幌高校コンソーシアムとの円滑な連携を促進するための助言や支援を行う。
- ・生徒が自己の適性を理解し、進路及び自己実現するための活動について助言や支援を行う。